

市町村名	宜野湾市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	文化財説明板・標識設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	H24~R3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」設置する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,753	3,157			
		(b)予算現額	1,772	2,106			
		(c)増減額(b-a)	▲2,981	▲1,051	0		
		(d)繰越額			1,749		
	A. 計(b+d)		1,772	2,106	1,749		
	B. 執行済額		1,674	676	671		
	うち交付金充当額		1,339	540	536		
	次年度繰越額		0	1,749			
	執行率(%) (B/A)		94.5%	32.1%	38.4%		
予算の状況の説明		R1年度 地域文化財案内板 605千円 パンフレット 71千円 R1繰越 671千円 ※指名競争入札に伴う執行残、設計額は3社見積額を基に設定したが、予想に反して低い契約金額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	目標	(2件)	(3件)	()	()	
		実績	2件	3件			
		目標	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	R1 地域文化財案内板作成設置 1件 同地域の歴史文化遺産マップ作成 R1繰越 文化財説明板・標識設置 2件						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	文化財標識・説明板設置件数 2件 地域文化財案内板 1件	目標	()	(2件)	(3件)	()	()
		実績		2件	3件		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	真志喜区へ地域文化財案内板、伊佐浜佐阿天橋碑へ文化財説明板と標識を設置した。地域の文化財情報を発信できるようになったことにより、訪れる方への地域の自然、歴史、文化に対する知識と理解が深められ、地域に愛着と誇りを育てる「地域アイデンティティ」創出の糸口となった。						

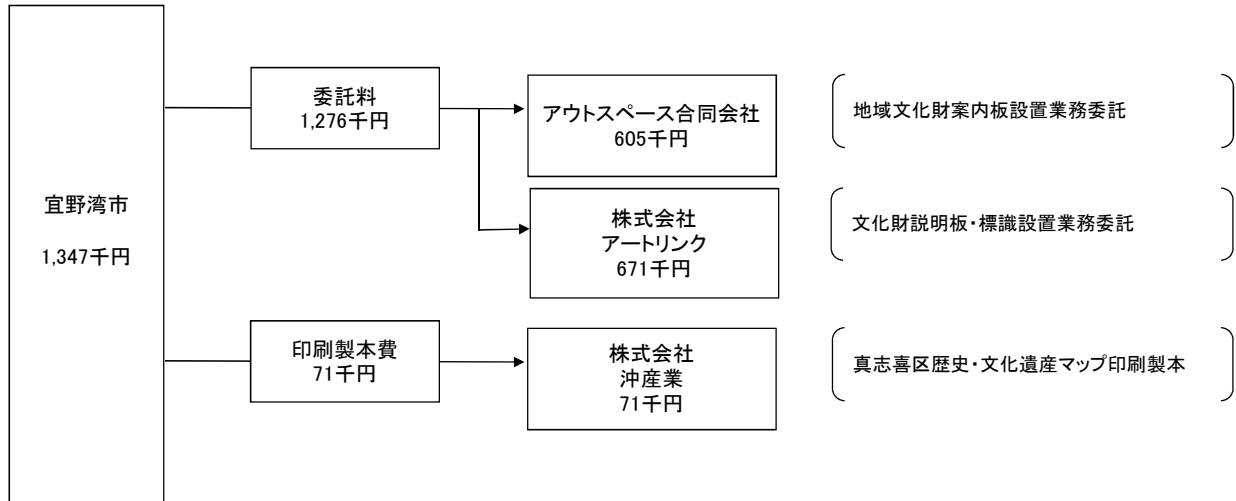
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 指定・登録文化財の保護・活用が図れるよう、市民の方々への啓発の充実が望まれている。 指定・登録文化財等の場所の問い合わせが多く寄せられている。 訪れた文化財の詳細な情報提供が求められている。 文化財周辺の開発(宅地建設等)があり、標識等の設置ができない文化財がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史と文化を今に伝える文化財の保護・利活用を図るために、文化財教室等(市主催の講座)において周知する。 文化財の場所、情報が市民や訪れる方へわかりやすく、身近に感じられるよう、作成・設置する必要がある。 対象となる文化財・地域の現状を踏まえて、関係者と調整し、標識を作成・設置する必要がある。 様々な工夫を行い、文化財の詳細な情報を提供できるようにする。

今後の取り組み方針

・文化財の所在する各区自治会・所有者・地域住民・来訪者・文化財ガイド等の意見・要望等を十分に反映させて実施する。
 ・作成したパンフレットの配布や市HPへの掲載等を行う。
 ・必要に応じて再印刷・配布を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,347	1,347	1,078	269	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	文化財保存整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	H24~R3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,632	26,989			
		(b)予算現額	11,632	18,274			
		(c)増減額(b-a)	0	▲8,715	0		
		(d)繰越額			17,413		
	A. 計(b+d)		11,632	18,274	17,413		
	B. 執行済額		10,098	864	13,750		
	うち交付金充当額		8,078	691	11,000		
	次年度繰越額		0	17,413			
	執行率(%) (B/A)		86.8%	4.7%	79.0%		
予算の状況の説明		R1 大謝名メヌカー敷地境界測量 R1繰越 大謝名メヌカー保存整備工事 大謝名メヌカー現場技術支援業務委託 ※不測の事態に備え、委託料・工事請負費ともに予定設計金額に積算して繰越額を設定したが、結果的に増額変更等は無く完了した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
	大謝名メヌカー保存整備工事を行う	目標	小祿墓石彫香炉(炉等の修復、複製、3D計測)	(1件)	()	()	
		実績	小祿墓石彫香炉等の修復、複製、3D計測	1件			
		目標	野嵩クヌカカーの(土質調査、詳細測量、実施設計)	()	()	()	
		実績	野嵩クヌカカーの土質調査、詳細測量、実施設計				
達成状況説明	R1 大謝名メヌカー敷地境界測量業務委託 R1繰越 大謝名メヌカー保存整備工事 石積整備等完了 R1繰越 大謝名メヌカー現場技術支援業務委託(上記、工事に伴う現場技術管理)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	大謝名メヌカー保存整備工事 1件	目標	()	小祿墓石彫香炉等の修復、複製、3D計測	(1件)	()	()
		実績		小祿墓石彫香炉等の修復、複製、3D計測			
	【参考指標】	目標	()	野嵩クヌカカーの(土質調査、詳細測量、実施設計)	()	()	()
		実績		野嵩クヌカカーの土質調査、詳細測量、実施設計			
進捗状況説明	大謝名メヌカーの保存整備工事を完了し、各種見学会の開催での案内ができ、市内外の方々に大謝名はもとより宜野湾市の湧水の魅力を伝えることができた。						

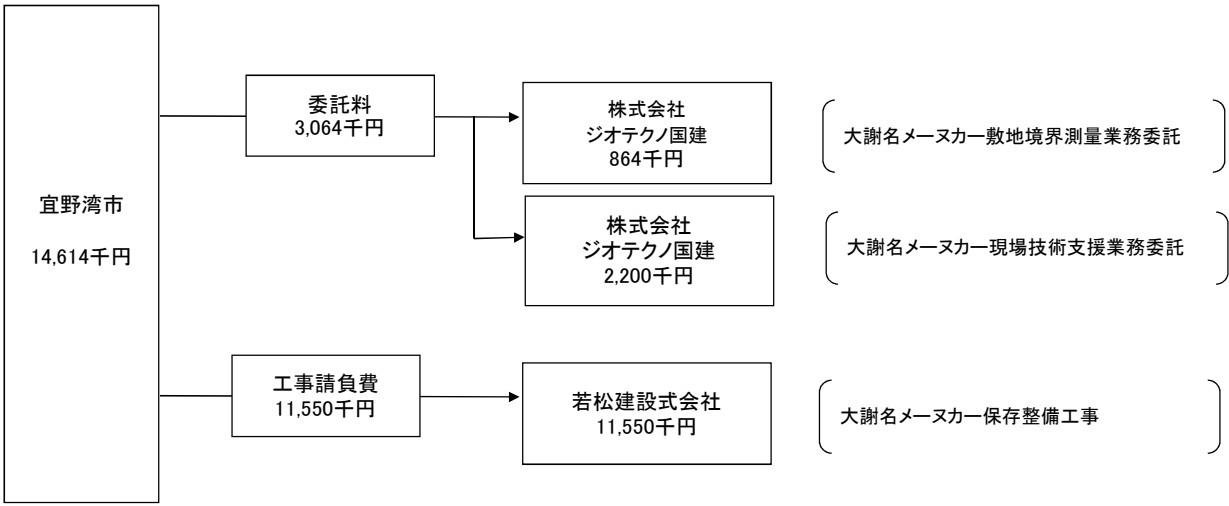
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 多くの文化財は地域の拝所等として所在地に住む方々の信仰の対象であり、また、見学の対象として多くの方が現地を訪れるが、長年の風雨等により、石畳の表面の摩耗、石垣のはらみや崩落がみられ、崩落や損壊などがみられ、文化財の価値を損ねている。 修復が必要な指定文化財がある中、整備計画等がなく、いち早く整備に取り掛かれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる文化財の現状を踏まえ、文化財的価値を回復させるよう、また、当該文化財の利活用に向けて事業立案時より、所有者・地域住民・来訪者(文化財めぐりの参加者等)・学識経験者から十分に意見・要望等を徴した後に整備に着手する必要がある。 各指定文化財ごとに整備計画をたて、崩落状況や整備環境などから優先順位を検討する。

今後の取り組み方針

- 各文化財の所有者・地域住民・来訪者及び学識経験者等の意見・要望等を十分に反映させ、課題を解決し、安全性を優先しつつ整備を行う。
- 保存整備が必要な文化財が多くあるため、それぞれの文化財活用までも視野に入れた整備計画をとりまとめ、優先順位を決めて行う必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
14,614	14,614	11,691	2,923	0



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	